鳥取市子どもの学習支援事業

公募型プロポーザル選定委員会

選考報告書

令和６年２月５日

**１　経緯**

鳥取市子どもの学習支援事業の業務委託者の選定にあたり、応募者から提出された提案書類と提案説明・質疑により審査を実施しました。

このたび審査が終了し、優先交渉事業者を決定しましたので、選考結果を報告します。

**２　選考までの経過**

|  |  |
| --- | --- |
| 経　過　項　目 | 年　月　日 |
| 公告、募集要領の公開 | 令和５年１２月２５日 |
| 参加申込書、企画提案書等の受付期限 | 令和６年　１月１８日 |
| 審査日（提案説明、質疑） | 令和６年　１月２４日 |

**３　選考にあたっての考え方**

「鳥取市子どもの学習支援事業企画提案募集要領」においてあらかじめ定めた審査基準に従って、申請内容が適切であること、提案内容が基準点に達しているかどうかを審議しました。

**４　応募者**

　株式会社　トライグループ

以上１者。

**５　評点者**

　　生活福祉課職員　１名

　　中央人権福祉センター職員　１名

こども未来課職員　１名

鳥取県子ども家庭部家庭支援課職員　１名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上４名。

**６　評価得点（評点者４名の合計点）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　評 価 項 目 | 配点 | 合計点 |
| 事業者の業務実績1. 同種又は類似業務に係る実績
 | 40 | **36** |
| 実施体制　①　業務目的や仕様内容を理解した支援方針の策定がなされているか②　指揮系統・責任体制は明確かつ適切なものか③　支援対象者の個人情報の管理体制・方法は十分であるか④　新型コロナウイルス感染防止対策は十分であるか | 80 | **71** |
| 見積金額の妥当性1. 業務内容に対する積算内訳は適切なものか
 | 40 | **33** |
| 提案内容のヒアリング | 生活保護世帯・生活困窮世帯・ひとり親家庭の子どもの学習環境をどのように分析しているか | 40 | **30** |
| 学習支援を行う上での熱意や理解はあるか | 40 | **33** |
| 学習支援員の人数や資格、経験は適切なものか | 40 | **31** |
| 学習支援員の業務遂行能力を維持・向上させるための取り組みは適切であるか | 40 | **30** |
| 事業運営に当たり、地元雇用等地元貢献に関する考え方 | 40 | **30** |
| 独自提案はあるか | 40 | **33** |
| **合 　 計** | 400 | **327** |

**７　結果**

【最優秀提案者】株式会社トライグループ

企画提案書及びヒアリング時の説明・質疑応答等の内容に基づき審査した結果、評点者の合計点数が400点満点中327点、得点率81.8％となり、基準である70％を超えているため優先交渉事業者として適切であると判断する。